

R8.10.30

そらぐみ

おこめの大切さと 収穫した喜び

おこめ!!
ピカピカ!!

自分たちで育てたお米が
稲穂となり、色合いもよ
くなってきたころ、おにぎり
に向けていくつかの工程を
がんばりました!!!

精(もみ)すり

精
米を
経て...

おこめ
とぎ

ようやく
ごはんに!

脱穀

今回自分たちで
脱穀・もみすり・
精米・炊くことを
行い、「もうつかれた」
「こんだけしか食べれ
やんの!!」とがんばった
おこめの少したったことに
おどろきと、そこから
お米の大切さを痛感する子どもたちでした。

できたてのほろほろもとてもおいしかった
ようで、いつもの給食より食べる量が良
い子どもたちでした。

そしてくりきんとん作りへ...

おいたわり
はスプーンで
中身をとり出
し、甘さを加
えてつぶしま
す。

自分の力をためた
ことで受着を
わかせています。
くりきんとんも
おいしかったようです。

かまをやって調理する時は
木の組みかやマッチなど
保育者の見守りの元、子ど
もたち自身で火おこしに
チャレンジしてます。今回も
ドボトボいながら、一緒に
木へ火をつけることが
できました。